

重井小中学校の学校再編について 保護者説明会

子どもたちの未来を拓く

小中一貫教育校による新たな学びの創造

令和6年8月21日 尾道市教育委員会

(目次)

- 1 重井小中学校の学校再編について
- 2 小中一貫教育校について
 - 2-1 教育内容について
 - 2-2 小中一貫教育校(因北小中学校)の施設について
 - 2-3 通学路の安全対策と通学対策について
- 3 今後のスケジュールについて

1 重井小中学校の学校再編について

学校再編の考え方

尾道市立小・中学校再編計画（H23.12月）

子どもたちの安全安心の確保はもとより、教育環境の充実を目指し、適正な学校規模の確保を基本として、小中学校の学校再編を進めてきた。

（1）適正な学校規模の確保

- ・複式学級の早期解消
- ・1学年複数学級化の推進

（2）学校施設の耐震化の推進

- ・耐震化工事対象校の精査（耐震化率100%の早期実現）

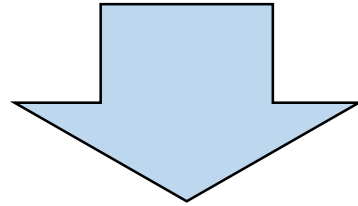
（3）尾道15年教育の推進

- ・1中学校区における、1小学校及び認定こども園の配置を推進

1 重井小中学校の学校再編について

(資料1、2参照)

- 重井小学校：毎年複式学級が生じる
- 重井中学校：全校生徒数の減少により小規模化が加速する



児童生徒が切磋琢磨できる適正規模の教育環境を充実する
という観点から、学校再編を進める必要がある

※重井中学校区保護者・地域との意見交換会の実施

1 重井小中学校の学校再編について

令和9年度：因北中学校区小中一貫教育校へ

重井小学校

因北小学校

重井中学校

因北中学校



進学

因北小学校



因北中学校

1 重井小中学校の学校再編について（これまでの取組から）

令和5年度から令和6年度初めの取組 意見交換会の実施

意見交換会の実施

○保護者：12月11日重井中PTA役員 3月1日重井小全体
3月11日重井中全体 4月12日重井中1年生

○地域：3月21日

- ・小中学校ともに早く統合してほしい。学校選択制度があるため、小中学校入学時に因北小中学校へ入学する、結果、重井小中学校の児童生徒数が減少している。
- ・中学校の統合は待ったなしだが、小学校は地域の拠点のため当面継続してほしい。
- ・重井中学校の少人数だからできる教育を受けさせたい。重井中学校で卒業させたい強い思いがある。下級生が入学しなかったとしても思いは変わらない。

1 重井小中学校の学校再編について（これまでの取組から）

令和6年度の取組 意見交換会の実施

今後の方向性（案）を提示し意見交換会の実施

保護者：4月20日重井小全体 4月26日重井中全体

地域：5月31日

小学校：令和9年4月因北小学校へ学校再編

中学校：令和9年4月因北中学校へ学校再編

今後の方向性（案）の理由

- ・ 中学校の学校再編は、生徒の教育環境を充実させるためにも早期に再編することが望ましいと考えられるが、中学校1年生の保護者の思いを大切にしたい再編年度を考える必要があるのではないか。
- ・ 小学校の再編も、在校児童数（複式学級が毎年ある状態）や保護者の早期再編を求める声もあるため、中学校と同時期に再編する方が良いのではないか。

1 重井小中学校の学校再編について（これまでの取組から）

令和6年度の取組 意見交換会の実施

- ・学校統合は、教育委員会で決めていただきたい。決めるのは保護者や地域ではない。私たちではないことを確認したい。
- ・小学校3年生以下が因北小学校へ統合となる。一番の当事者となる保護者や児童を重視して説明をしてほしい。
- ・重井小中学校と因北小中学校が統合する場合には、新設校にしてほしい。新しい校歌、校章を作ることが町民の願いである。統合か新設かの説明次第でかなり印象が変わってくる。
- ・どんな学校を創るのかということをしつかりと示してほしい。尾道みなと小中学校と同じ熱量を出して新しい学校を創ってほしい。

1 重井小中学校の学校再編について

令和9年度：因北中学校区小中一貫教育校へ

重井小学校

因北小学校

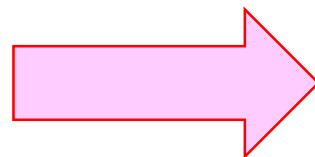
重井中学校

因北中学校



因北小学校

進学



因北中学校

2 小中一貫教育校について

(資料3参照)

因北中学校区小中一貫教育校で新たな学びを創造し 尾道スタンダードとして市内へ発信していきます

小中一貫教育校は、市内小中学校の教育環境や教育内容の充実を図っていく上でのモデルとなり、他の中学校区と切磋琢磨しながら尾道全体の教育の質の向上を目指す学校です。

- 目指す子ども像
郷土を愛し、心豊かにたくましく生きる子ども
- 15歳の生徒に身に付けさせたい力
自己を認識し、人生を選択し、表現できる力
- 育てたい資質・能力
学んだことを人生や社会に活かそうとする「学びに向かう力、人間性」等
実際の社会や生活で生きて働く「知識及び技能」
未知の状況にも対応できる「思考力、判断力、表現力」等

義務教育9年間を見通した系統的な教育課程

2 小中一貫教育校について

小中一貫教育校とは

- それぞれ独立した小学校と中学校
- 小学校と中学校が、目指す子供像を共有
9年間を通じた教育課程を編成し、系統的な教育
を行う
- 教育研究の研究主題、生徒指導規程等、学校運営上
必要な事項の多くが小中共通となる

2-1 教育内容について

他の中学校区と切磋琢磨しながら、
尾道全体の教育の質の向上を目指す学校

(資料3参照)

○目指す子ども像

「郷土を愛し、心豊かにたくましく生きる子ども」

尾道（因島）で育ち学んで良かったと誇りに思い、
自分の可能性に挑戦し、豊かな人生を切り拓いて
ほしい

○15歳の生徒に身に付けさせたい力

「自己を認識し、人生を選択し、表現できる力」

○育てたい資質・能力

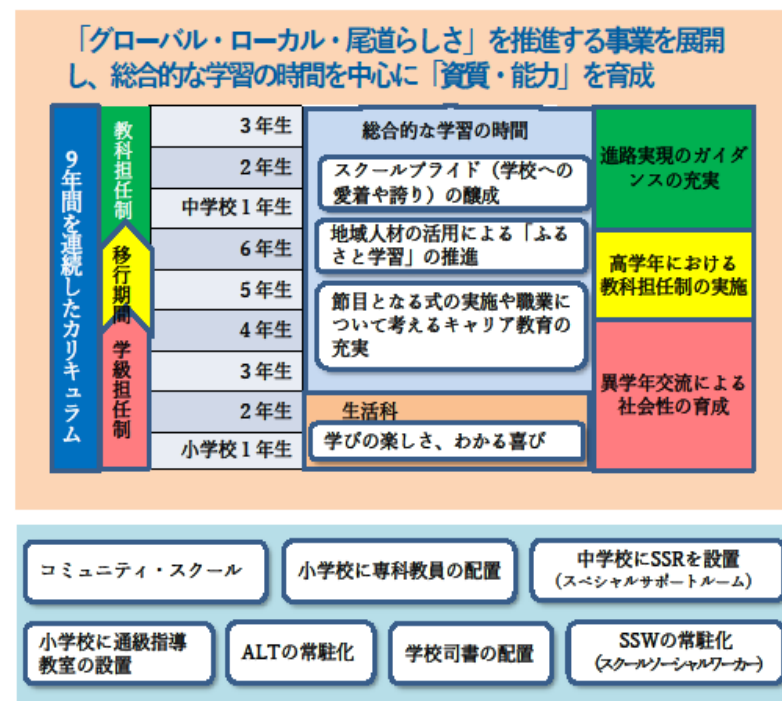
「学びに向かう力、人間性」等、「知識及び技能」、
「思考力、判断力、表現力」等

因北中学校区小中一貫教育校で新たな学びを創造し
尾道スタンダードとして市内へ発信していきます

小中一貫教育校は、市内小中学校の教育環境や教育内容の充実を図っていく上でのモデルとなり、他の中学校区と切磋琢磨しながら尾道全体の教育の質の向上を目指す学校です。

- 目指す子ども像
郷土を愛し、心豊かにたくましく生きる子ども
- 15歳の生徒に身に付けさせたい力
自己を認識し、人生を選択し、表現できる力
- 育てたい資質・能力
学んだことを人生や社会に活かそうとする「学びに向かう力、人間性」等
実際の社会や生活で生きて働く「知識及び技能」
未知の状況にも対応できる「思考力、判断力、表現力」等

義務教育9年間を見通した系統的な教育課程



2-1 小中一貫教育校の教育内容について

教育環境の充実

- コミュニティ・スクール
- 小学校に専科教員の配置
- 中学校にSSR（スペシャルサポートルーム）を設置
- 小学校に通級指導教室の設置
- ALTの常駐化
- 学校司書の配置
- SSW（スクールソーシャルワーカー）の常駐化

因北中学校区小中一貫教育校で新たな学びを創造し
尾道スタンダードとして市内へ発信していきます

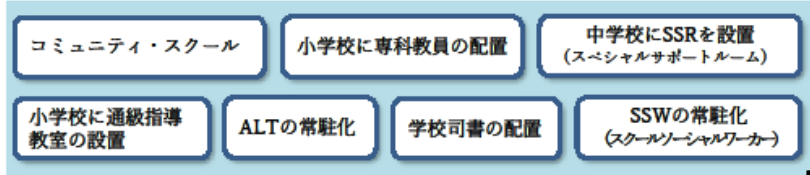
小中一貫教育校は、市内小中学校の教育環境や教育内容の充実を図っていく上でのモデルとなり、他の中学校区と切磋琢磨しながら尾道全体の教育の質の向上を目指す学校です。

- 目指す子ども像
郷土を愛し、心豊かにたくましく生きる子ども
- 15歳の生徒に身に付けさせたい力
自己を認識し、人生を選択し、表現できる力
- 育てたい資質・能力
学んだことを人生や社会に活かそうとする「学びに向かう力、人間性」等
実際の社会や生活で生きて働く「知識及び技能」
未知の状況にも対応できる「思考力、判断力、表現力」等

義務教育9年間を見通した系統的な教育課程

「グローバル・ローカル・尾道らしさ」を推進する事業を展開し、総合的な学習の時間を中心に「資質・能力」を育成

9年間を連続したカリキュラム	教科担任制	3年生	総合的な学習の時間 スクールプライド（学校への愛着や誇り）の醸成	進路実現のガイダンスの充実		
	移行期間	2年生			地域人材の活用による「ふるさと学習」の推進	高学年における教科担任制の実施
		中学校1年生				
		6年生	生活科 学びの楽しさ、わかる喜び			
	学級担任制	5年生		生活科	異学年交流による社会性の育成	
		4年生				学びの楽しさ、わかる喜び
		3年生				
	2年生	生活科	異学年交流による社会性の育成			
	小学校1年生			学びの楽しさ、わかる喜び		



2-1 教育内容について

グローバル

×

ローカル

尾道（因島）らしさ

知・徳・体のバランスのとれた
「生きる力」の育成

2-1 教育内容について

知・徳・体のバランスのとれた「生きる力」の育成

【知】 確かな学力

「グローバル・ローカル・尾道らしさ」を推進する事業

- 英語教育を充実させ、**コミュニケーション能力や、言語能力を育成**します。
- ALTの常駐、小学校へも定期的に派遣できる環境づくりを行います。
- 高学年（一部中学年）への教科担任制の導入により、中学校の教科担任制へのスムーズな移行や、専門性を活かした質の高い授業を行い、**学力の向上**を目指します。
- ICT機器を積極的に活用した授業や家庭学習を行い、**情報活用能力を育成**します。

2-1 教育内容について

知・徳・体のバランスのとれた「生きる力」の育成

【徳】 豊かな心

- ふるさと学習の学びを通して、郷土を愛する心を育てます。
- 道徳教育や特別活動を充実させ、体験や経験を通して、人を思いやる心を育てます。
- 児童生徒が安心して学校生活を送ることができるよう、カウンセリング体制を充実します。

スクールプライド（学校への愛着や誇り）を醸成

2-1 教育内容について

〇ふるさと学習



重井
中学校区

「ふるさと因島」

人、伝統、環境、産業、歴史等

因北
中学校区

職場体験活動・進路学習

進路実現、持続可能な社会の実現
「因島からの提言」

系統的に地域の学習材を再構成



2-1 教育内容について

知・徳・体のバランスのとれた「生きる力」の育成

【徳】豊かな心

- ふるさと学習の学びを通して、郷土を愛する心を育てます。
- 道徳教育や特別活動を充実させ、体験や経験を通して、人を思いやる心を育てます。
- 児童生徒が安心して学校生活を送ることができるよう、カウンセリング体制を充実します。

- SC（スクールカウンセラー）の配置
- SSW（スクールソーシャルワーカー）の常駐化
- 学校統合加配
- SSR（スペシャルサポートルーム）の設置

支援体制
の充実

2-1 教育内容について

知・徳・体のバランスのとれた「生きる力」の育成

【体】健やかな体

- 運動時間を増やす取り組みを充実させ、体を動かす習慣を定着させます。
- 食育や情報モラル教育等を充実させ、望ましい食習慣や基本的な生活習慣の確立を目指し、健康で活力ある児童生徒を育成します。
- 重井中学校、因北中学校の部活動を再編成し、部活動を活性化します。

【重井中学校】陸上競技、ソフトテニス、卓球、文化科学部

【因北中学校】陸上競技、軟式野球、サッカー、バスケットボール、バレーボール、ソフトテニス、卓球、吹奏楽、文化部

※再編後は、現在ある部活動を再編成し、活性化を図る。

2-1 教育内容について

知・徳・体のバランスのとれた「生きる力」の育成

【信頼】 地域に開かれた学校づくり

- 小中一貫教育校で、9年間の系統的な教育課程を編成し、小中一貫した教育を進めます。
- 保護者や地域の力を学校運営に生かす中学校区が一体となった コミュニティ・スクールを導入し、魅力のある学校の実現を図ります。

学校と保護者や地域の皆さんがともに知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させることで、一緒に協働しながら子供たちの豊かな成長を支え「地域とともにある学校づくり」を進める仕組み

※**地域の方が学校へ参画しやすい体制づくりを行います。** 20

2-1 教育内容について (資料4-1、4-2、5-1、5-2参照)

重井小学校

因北小学校

重井中学校

因北中学校

令和6年度 学校経営全体構想

尾道教育総合推進計画「夢と志を抱きグローバル社会を生き抜く子どもの育成」

尾道市立重井小学校 学校教育目標

心豊かに学びたくて伸びる子ども 心豊かに学びたくて伸びる子ども 心豊かに学びたくて伸びる子ども

【学校教育目標】
心豊かに学びたくて伸びる子ども

【学校経営目標】
「わくわく」「こっこつ」「きらきら」のある教育活動

【めざす学校像】
児童も教職員も生き生きと活動するあたらしい学校
環境が整った規律ある落ち着いた学校「我が校に誇りあり」
家庭・地域から信頼され、共に歩む学校

【めざす教職員像】
子どもを愛し、共に喜びを味わう教職員
よりよい授業をめざし、研修と研鑽を続ける教職員
「チーム因北」としての誇りを持ち、協働する教職員
保護者や地域の力に心を配り、誠実に応える教職員

【めざす児童像】
自ら学び生き生きと表現する子
【かしく】 自ら学び生き生きと表現する子
【やさしく】 自他を認め合いのちのある子
【たくましく】 最後まで粘り強くやり抜く子

【研究主題】
「自らを表現し、共によりよい生き方を求める児童の育成」
～「ひと・もの・こと」と多様にかかわり、対話を通して学びを深める学習を通して～

令和6年度 尾道市立因北小学校 学校経営全体構想

尾道教育総合推進計画「夢と志を抱きグローバル社会を生き抜く子どもの育成」

スクールミッション:「小中連携教育の充実による主体性・表現力の育成」

【学校教育目標】
自他を尊重し、主体的に学び続ける子どもの育成

【学校経営目標】
「わくわく」「こっこつ」「きらきら」のある教育活動

【めざす学校像】
児童も教職員も生き生きと活動するあたらしい学校
環境が整った規律ある落ち着いた学校「我が校に誇りあり」
家庭・地域から信頼され、共に歩む学校

【めざす教職員像】
子どもを愛し、共に喜びを味わう教職員
よりよい授業をめざし、研修と研鑽を続ける教職員
「チーム因北」としての誇りを持ち、協働する教職員
保護者や地域の力に心を配り、誠実に応える教職員

【めざす児童像】
自ら学び生き生きと表現する子
【かしく】 自ら学び生き生きと表現する子
【やさしく】 自他を認め合いのちのある子
【たくましく】 最後まで粘り強くやり抜く子

【研究主題】
「自らを表現し、共によりよい生き方を求める児童の育成」
～「ひと・もの・こと」と多様にかかわり、対話を通して学びを深める学習を通して～

Open the Future with Ambition
～志を胸に 自らの可能性を広げ仲間と協働し未来を切り拓く生徒の育成～
校訓「立志・創造・挑戦」

【学校教育目標】
心豊かに学びたくて伸びる子ども

【学校経営目標】
「わくわく」「こっこつ」「きらきら」のある教育活動

【めざす学校像】
児童も教職員も生き生きと活動するあたらしい学校
環境が整った規律ある落ち着いた学校「我が校に誇りあり」
家庭・地域から信頼され、共に歩む学校

【めざす教職員像】
子どもを愛し、共に喜びを味わう教職員
よりよい授業をめざし、研修と研鑽を続ける教職員
「チーム因北」としての誇りを持ち、協働する教職員
保護者や地域の力に心を配り、誠実に応える教職員

【めざす児童像】
自ら学び生き生きと表現する子
【かしく】 自ら学び生き生きと表現する子
【やさしく】 自他を認め合いのちのある子
【たくましく】 最後まで粘り強くやり抜く子

【研究主題】
「自らを表現し、共によりよい生き方を求める児童の育成」
～「ひと・もの・こと」と多様にかかわり、対話を通して学びを深める学習を通して～

令和6年度 尾道市立因北中学校 学校経営全体構想

尾道教育総合推進計画「夢と志を抱きグローバル社会を生き抜く子どもの育成」

スクールミッション:「小中連携教育の充実による主体性・表現力の育成」

【学校教育目標】
心豊かに学びたくて伸びる子ども

【学校経営目標】
「わくわく」「こっこつ」「きらきら」のある教育活動

【めざす学校像】
児童も教職員も生き生きと活動するあたらしい学校
環境が整った規律ある落ち着いた学校「我が校に誇りあり」
家庭・地域から信頼され、共に歩む学校

【めざす教職員像】
子どもを愛し、共に喜びを味わう教職員
よりよい授業をめざし、研修と研鑽を続ける教職員
「チーム因北」としての誇りを持ち、協働する教職員
保護者や地域の力に心を配り、誠実に応える教職員

【めざす児童像】
自ら学び生き生きと表現する子
【かしく】 自ら学び生き生きと表現する子
【やさしく】 自他を認め合いのちのある子
【たくましく】 最後まで粘り強くやり抜く子

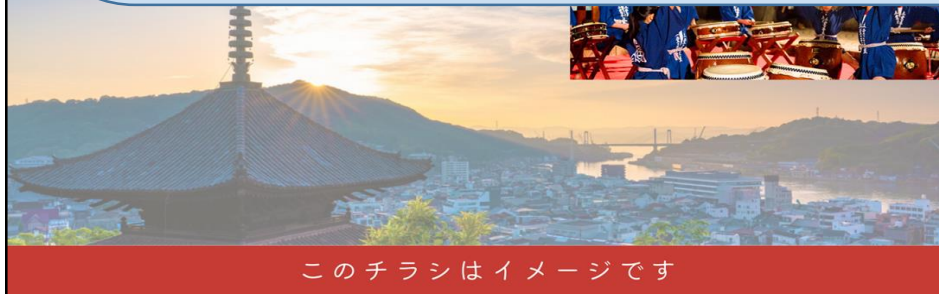
【研究主題】
「自らを表現し、共によりよい生き方を求める児童の育成」
～「ひと・もの・こと」と多様にかかわり、対話を通して学びを深める学習を通して～

新たな教育内容の創造

2-1 教育内容について



因北中学校区小中一貫教育校の学びを 市内全体に発信、普及

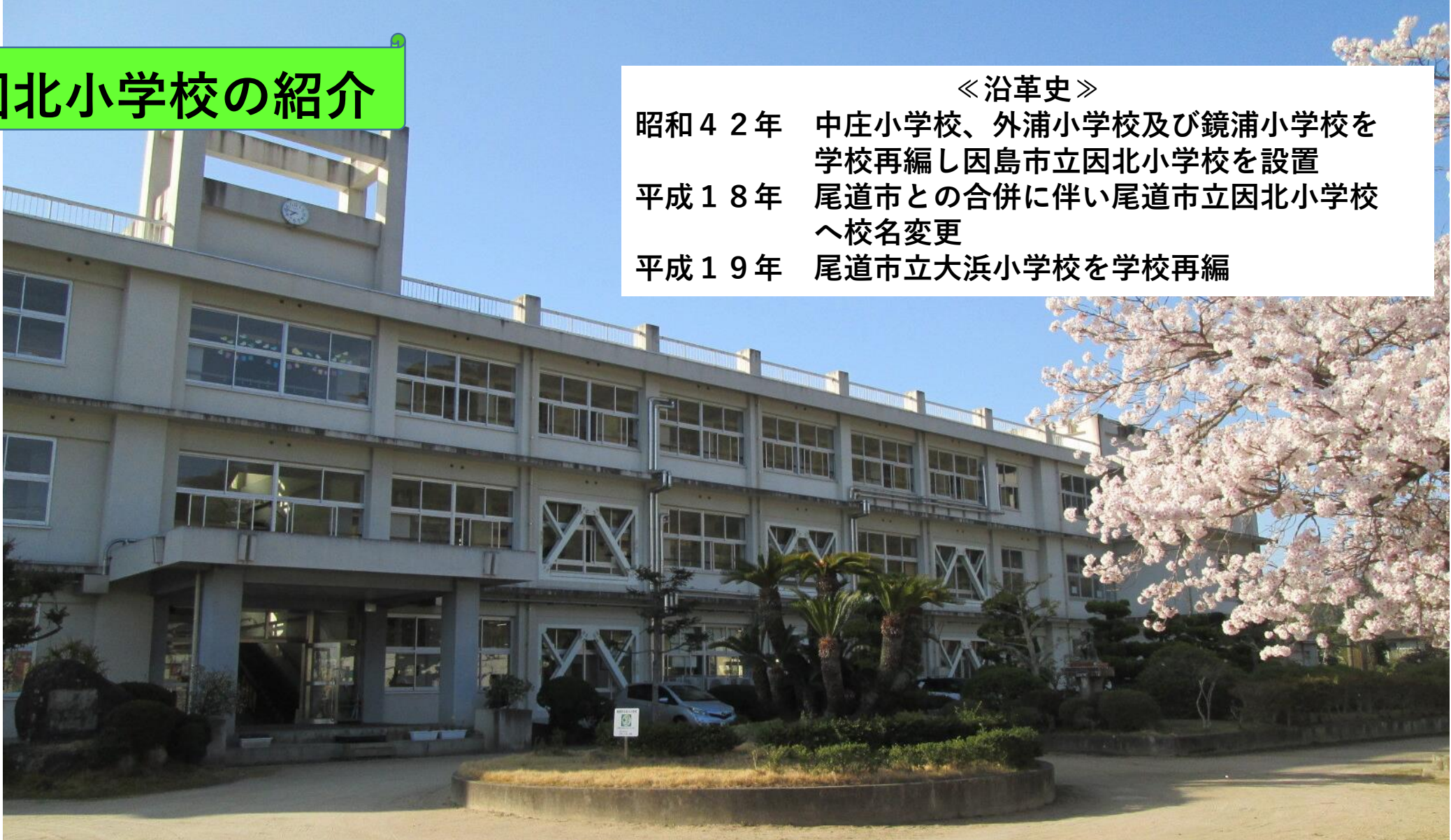


2-2 小中一貫教育校（因北小学校）の施設について

因北小学校の紹介

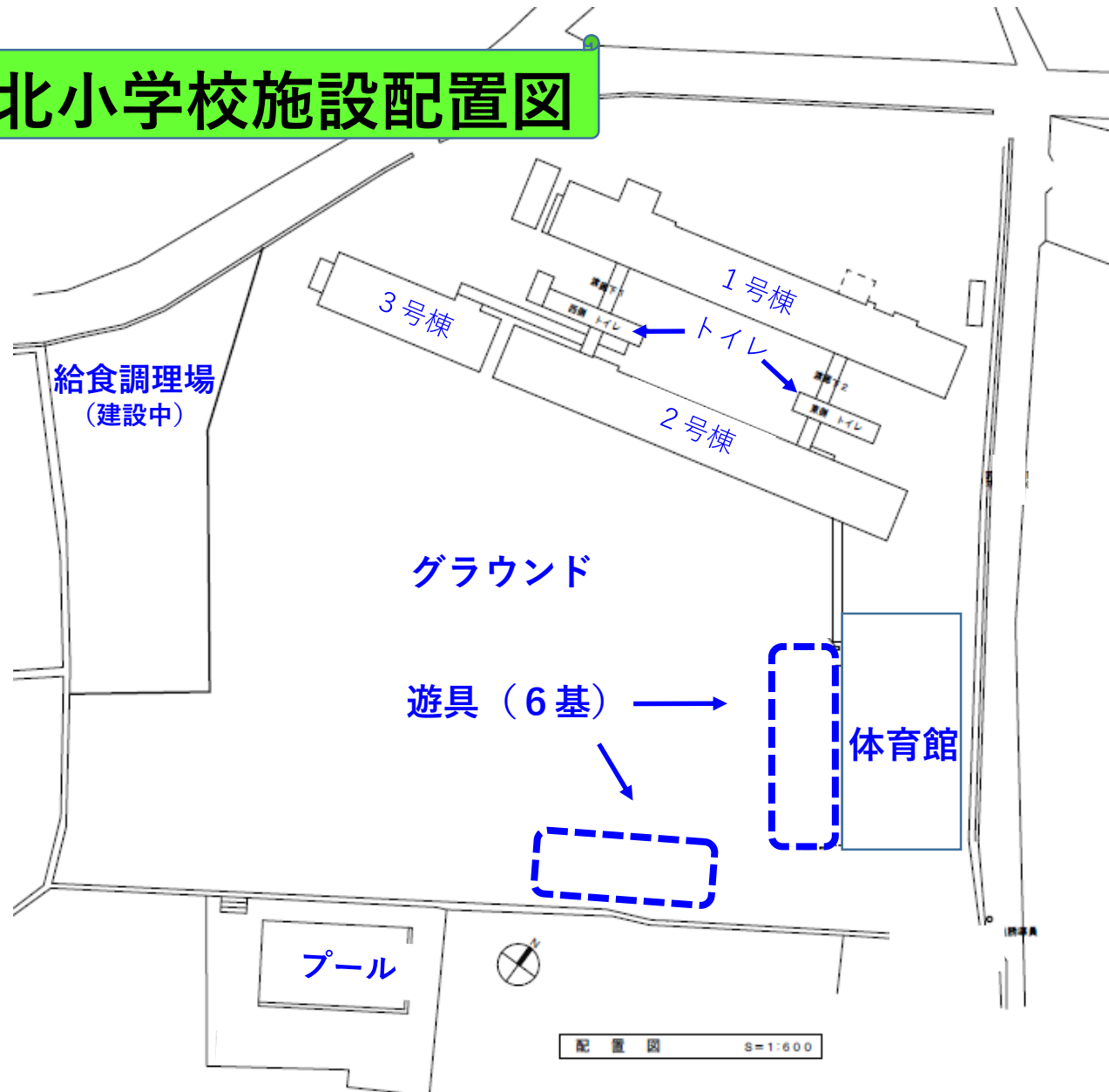
《沿革史》

- 昭和42年 中庄小学校、外浦小学校及び鏡浦小学校を学校再編し因島市立因北小学校を設置
- 平成18年 尾道市との合併に伴い尾道市立因北小学校へ校名変更
- 平成19年 尾道市立大浜小学校を学校再編



2-2 小中一貫教育校（因北小学校）の施設について

因北小学校施設配置図



リニューアルした遊具



2-2 小中一貫教育校（因北中学校）の施設について

因北中学校の紹介

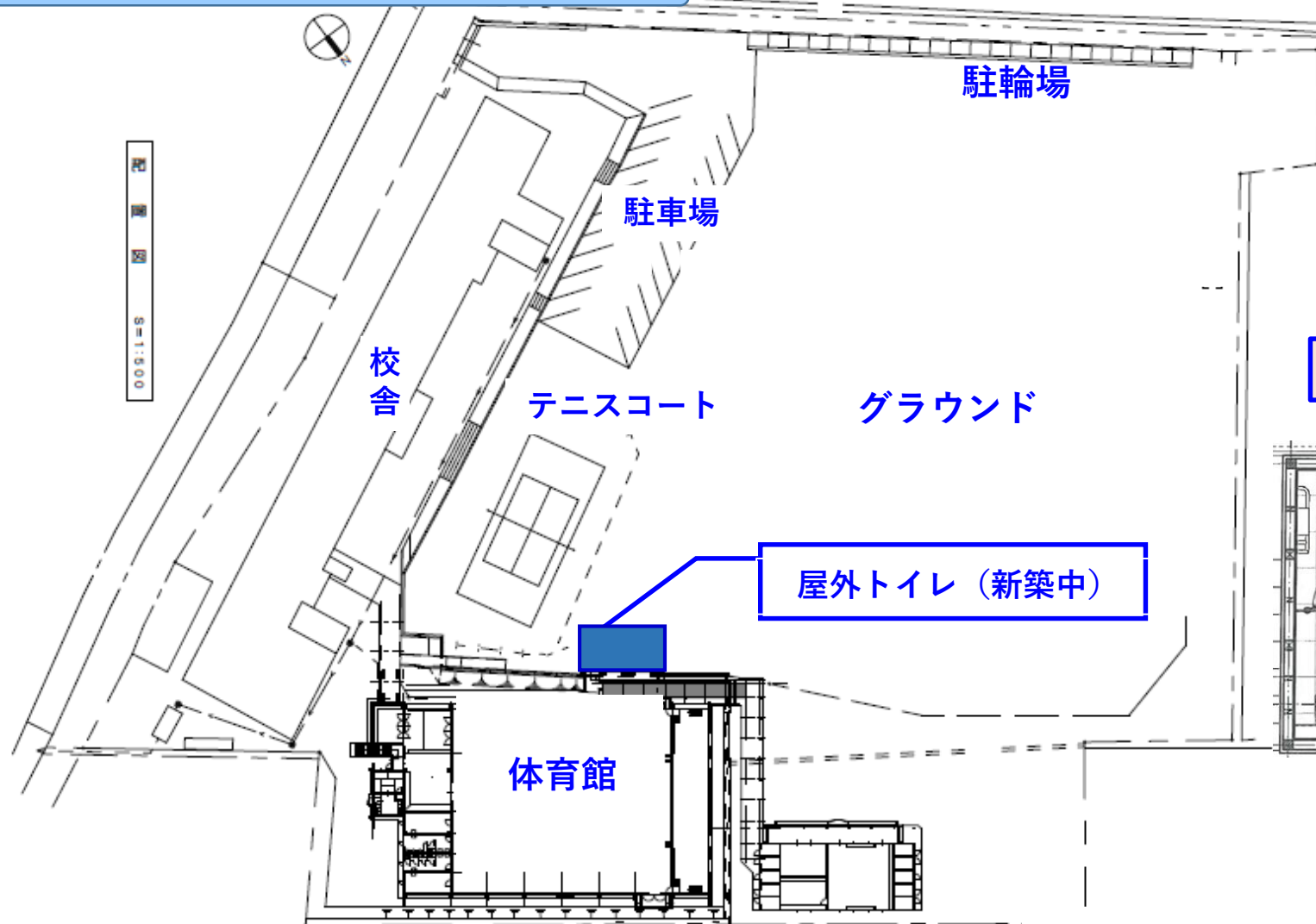
《沿革史》

- | | |
|-------|--------------------------|
| 昭和22年 | 御調郡中庄村立中庄中学校設立 |
| 昭和27年 | 御調郡学校組合立因北中学校へ校名変更 |
| 昭和28年 | 市制に伴い因島市立因北中学校へ校名変更 |
| 平成18年 | 尾道市との合併に伴い尾道市立因北中学校へ校名変更 |



2-2 小中一貫教育校（因北中学校）の施設について

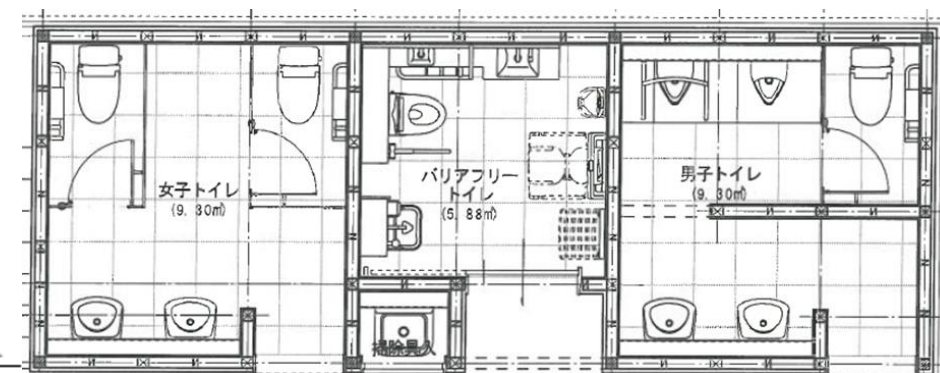
因北中学校施設配置図



老朽化した屋外トイレ



衛生面・利便性を考慮したトイレに更新



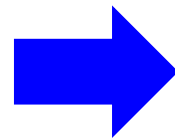
令和6年度完成予定

2-2 尾道（因島）らしさのある9年間の学びの創造

（1）ワーキングスペースによる学び合いの充実

学級活動だけではなく、異学年や縦割り活動を仕組みやすくなり、個や集団による学びをより充実させることが可能になる

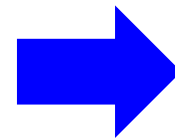
iv 関係：読書・学習・情報のセンターとなる図書館



2-2 尾道（因島）らしさのある9年間の学びの創造

(2) 専科教室等による教科指導の充実

英語教室等の創出により学びをより深めることが可能になる



ii-1 関係: 多様な学習活動が展開できる空間



2-3 通学路の安全対策と通学対策について

(1) 通学路の安全対策について

- 尾道市通学路交通安全プログラム
 - 重井小学校区：水路側にガードパイプを設置
ブルーラインの引き直し
 - 因北小学校区：横断歩道、停止線の引き直し
注意喚起標示、交差点マークの施工
- 小中一貫教育校準備委員会（仮称）
 - 学校・保護者・地域・道路管理者・警察・教育委員会等が合同で通学路の候補となる道路を点検する。

2-3 通学路の安全対策と通学対策について

(2) 通学対策について

※小中一貫教育校準備委員会（仮称）
の中で通学対策の在り方について検討

① 通学支援について

- 通学距離が小学校概ね 3 km以上、中学校概ね5km以上の場合
- 通常利用すると考えられる通学路を路線バスが運行している場合は、路線バスの定期券を支給する。
- 路線バスでの通学が困難であると認められる場合には、スクールバス等の運行を実施する。

尾道市通学対策基準より

② 中学校の自転車通学について

重井中：通学距離に関係なく希望者に自転車通学を許可

因北中：通学範囲（通学できる範囲）を設定し、自転車通学を許可

3 今後のスケジュールについて

令和6年度

- 重井中学校区 保護者説明会・地域説明会
- 因北中学校区 保護者説明会・地域説明会
- ※学校選択制度募集要項発送10月初旬頃

令和7年度～

- 因北中学校区小中一貫教育校準備委員会（仮称）
立ち上げ
 - ・教育内容、通学対策等協議
- 児童生徒間交流
- 重井小中学校閉校記念事業実行委員会立ち上げ
- 重井小中学校閉校式、閉校記念事業（令和8年度末）

令和9年度

- 因北中学校区小中一貫教育校スタート

子どもたちの未来を拓く

保護者・地域・学校・教育委員会で力を合わせ

小中一貫教育校による

新たな学びを創造してまいりましょう